

# 屋外から見学 四季体感

## 大雪酒造「緑丘蔵」が完成

【上川】9月からの本格醸造を予定する上川大雪酒造の酒蔵「緑丘蔵」が町内に完成し、見学会が3日に開かれた。役場や農協をはじめ町内外から関係者約30人が訪れ、新酒のほか観光客を誘致する新スポットへの期待を膨らませた。

同酒蔵は鉄骨造り2階建て延べ約400平方メートル。コンパクトな作りで熱効率の良さが特徴だ。雪や新緑など周囲の自然に溶け込むよう、外観は黒を基調としている。1階で仕込みや出荷酒蔵内を案内する川端慎治社長(手前右から2人目)ら



2階で酒米を蒸すなど原料の処理をする。見学デッキはあえて屋外に設け、上

川の四季を体感しながら製造過程をガラス越しにのぞけるようにした。

見学会では塚原敏夫社長や川端慎治社長らが案内し、蔵の前で地元産品のマ

ルシェを開催する計画なども説明した。参加した佐藤芳治町長は「酒蔵の誕生は全国から注目を浴びている。この機会に町の水のすばらしさなど、さまざまな情報発信をしていきたい」と話した。(高田かすみ)

# 糸魚川大火から復旧を

## 焼失の老舗 上川の酒蔵見学

【上川】新潟県糸魚川市で昨年12月に発生した大火で焼失した老舗酒蔵「加賀の井酒造」の蔵元、小林大祐さん(35)が3日、上川管内上川町に完成したばかりの上川大雪酒造(塚原敏夫社長)の酒蔵「緑丘蔵」を見学した。酒蔵復活の参考にするためで、小林さんは「全国からの応援に応え、しっかりと立て直したい」と話している。



加賀の井酒造は1650年(慶安3年)創業。火災で酒蔵など約4億円の損失を受けたが、小林さんは現地で復旧を決意。珍しく酒蔵が新設されると同業者から聞き、2月上旬に1度、塚原社長を訪ねた。緑丘蔵を手がけた札幌の建築士大

建築士の大島有美さん(左)の説明を受けながら緑丘蔵を見学する「加賀の井酒造」蔵元の小林大祐さん(中央)



追加)。定員25人。申し込み、問い合わせは同社☎011・212・1170へ。

島有美さん(40)が「酒蔵の機能や機材を熟知している」と知り、自らの酒蔵の設計も依頼した。

小林さんはこの日、大島さんと蔵を見て回り、「緑丘蔵と同じコンパクトな2階建てにしたい」と構想を語った。塚原社長は「新規の弊社と再スタートを切る加賀の井さん。このご縁を大切に何らかの連携ができれば」と話していた。

# ふるさと納税

## 上士幌のジェラート

【上士幌】十勝管内上士幌町のふるさと納税の返礼品「ジェラート(氷菓)セット」の製造方法に問題があったとして、町と生産者

バチか内 3時ザ内 総合研の西川 不要。 @ra